全国街おこし開発機構　（設計コンセプト）

エリア　：　岩手県雫石　・　山形県　かみのやま温泉　・　山形県じさい農園

:イメージ

小さなヨーロッパの村を創る、（1000人から職場含め1500人程度）,村全体の構成から個々の建築や人為的な環境は永続的で再生可能な計画とし、利用する人々が飽きることなく生活を楽しみ人生を謳歌できる美しさを伴った地域の創造を目的とする。

美意識は個々の感情から成り立つが、趣味趣向を超え、人類に共通する感動（例として朝日が昇る瞬間の風景や夕日など）は自然の力を感じ得ることができ、景観や四季の変化に恵まれ清浄な空気と水の綺麗な今回のエリアは好立地です。

立地環境の風景を最大限生かすには自然の借景を生かし、一日の太陽の動きや四季の移ろいを考慮しつつ、木々や花々のバランスに気配りをしながら全体を俯瞰する事で可能となります。

可能な限り経年劣化に絶え永続性があり交換可能な建材は、華美ではないがシンプルで普遍性のある素材として、外部を構成する材料は過去～現代まで一般に流通している自然素材を使用するのが望ましいとイメージしており、工業化が進んだ現在では外壁に使用されるサイディングは一般的に小奇麗であり個々の建物は優れていても、群れとしての永続性及び美しさは到底自然素材にはかないません。

日本では20年～40年ほどでの建替えが一般的ですが、建物のライフサイクルを80年～100年以上とする事で生活にゆとりが生まれ人生を豊かに創造していただきたいのです。

村々は四季折々に楽しめる木々を複数植樹する事で10年後、20年後はさらに美しい

景観となる事でしょう。

専用の畑を作りメインストリートや路地、人々が行き来する公共性が高く普段目にする機会の多い場所に積極的に植樹を進め、その花々や木々を住民の町内会費のような運営費で賄い、連帯感が芽生え絆として村々が発展するような配慮を考えます。 最終的には観光地として機能させる目的もあり住民の大きな利益につながります

公共性の高い施設や店舗などは災害（地震や火災、台風等）に強いハイブリット（RC+木造）で100年を超える施設造りを標準といたします。

この村々では誰もが住まいを所有できるよう、経済的な負担のない住まいも提供します、小さな住宅でも心が豊かに感じる工夫のある住まいは可能で、感性に働きかけ近隣環境を取り込み計画することで、無駄のない持続性のある地球環境に配慮した住まいとします。

計画地内は自動車に頼る事なく徒歩で移動できるよう、遊歩道は都度発見のある魅力的な通路として石畳や花々が咲き乱れるコミュニティロードとして計画し、子供たちが路地裏で安全に遊べる環境を構築いたします。

遊歩道は景観の素晴らしいビューポイントやバードウオッチングなど複数検討し、日常的に体験し歩きたくなる歩道は健康を維持することに有効な対策と考えております。

他の地域からの入居者のために、徒歩以外にメインストリートの一部に自転車専用通路を完備しましょう、敷地内だけでなく、多少の距離を自転車で移動する事で環境維持や騒音を低減し安全な環境を維持します、レンタサイクルを利用する事も良いかもしれません、そのため観光としての駐車場は村の入口界隈に計画します。

温泉が可能であれば地域にとって良いコミュニケーションツールにもなり、近隣からの永続的な利用ができる魅力的な施設の運営が可能となります。

地域の農作物なども提携し有機栽培を中心に栽培していただき健康的な食生活や販売を行うなら職場を確保し、自立型の村が可能となります。

都会からの移住者には最初の住まいとして中層のマンションをベースに、オフィスや

シュアハウスを導入し移住を促進させる事も検討しております。

いつまでも若々しく活動的に生きるには住民すべてが必要な役割を担い、義務でなく

喜びとして施設を維持し守る事で満たされる社会的な環境を創る必要があります、必要とされている事や長年培ってきたその人しかできない経験を活かせる仕組み創りを考えます。

広範囲な世代を取り込むには、特に育児の問題があります、あまりお金のかからない保育施設の運営や若い世代が何らかしら高齢者を助ける事で成り立つ経済的な仕組みも必要かと思います（買い物の代行や病院への付き添い、それらをポイントとして還元できないか）

施設は誰でも利用できる公民館のような施設を整備したいと思います、小さな一人っ子が安心して勉強できる、あるいは面倒をみてくれる元先生など、ボランティアを喜びとして将来の人材育成ができる場を何気なく運営できる場所の提供を考えています。

公民館では時々仲間が集まって食事を作ったりするのも良いですね、村々の緑化事業なども

村々の構成

村の中心部　　シンボル（集会施設）及び結婚式のできるレストラン/集会施設の利用、

　　　　　　　　　　塔のような展望台を観光の目玉やビューポイントに設定

　　　　　　広　場　　イベントやミニコンサートのできるスペース

　　　　　　この部分はショッピングモールとつながり出店や年間を通じて様々な

イベントに対応できる用、常設のカフェやレストラン店舗を併設

店舗に改装しやすい住居とし/入居者が改装しやすい構成で考える

駐車場エリア　数千人規模（近隣からのアクセス等を考慮し便所や店舗を併設）

案内センター　インフォメーション（フラワーパークやお城巡り・ビュウポイント）

　　　　　　　星空の見える展望台

ホテル（宿泊）簡易宿泊施設として村々内部に、店舗の上部に、温泉併用など

研修センター　外国人技能実習生

高齢者施設　中庭を通じメインの住宅街が見える静かな環境にシンボルとしての 　　展望台や集会所などが見える事で社会性や繋がりが感じられる立地とする。

中層住宅街　若い世代が無理なく住める相互依存型マンションを活用し事務所スペースなど共有部分を充実させ、移住しやすい環境を提案し近代的な街のイメージに近隣温泉と相乗効果がでるようフィットネスやリハビリ施設を併設させ

　　　　　　保養所を兼ねる施設運営を検討しています。

戸建て住宅　花々が咲き乱れ木々の若葉が美しい、遊歩道に面する個々の家々は綺麗に感じられ地域住民の意識をより高めつつ、良い関係が築ける事でしょう。

自由　設計　このエリアは高台の森や傾斜地といった敷地を利用し、少し広めの立地に

　　　　　　自由設計とし隣地との距離も十分あるためデザインフリーの地域を設けます、

　　　　　　ステイタス性の高い住居は近隣の資産価値を高める事になります。

計画エリアは自然を最大限に生かし、様々な変化に満ち見飽きる事がありません、

人工物には限界がありますが、近隣の美しい季節毎の表情と大空は大自然の雄大なキャンバスです、緑豊かな木々、庭を彩る花々、豊かにみのる農作物など生活の理想郷をめざしてこの村々を構想し計画しています、大自然の懐に抱かれて優雅に生活する時間を楽しんで下さい、どうぞ心を空っぽにしてこの景色の中で幸せを実感していただけたならば

私、設計者として感無量です。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　企画・設計　（有）吉田敏一建築研究所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　　　　吉田　敏一